



いきいき 学びのプラン

【生涯学習計画】市民だより／64号
(平成30年9月1日発行)

《発行》岸和田市・

岸和田市教育委員会

《編集》岸和田市教育委員会

生涯学習課

〒596-0072

岸和田市堺町1-1

(市立公民館・中央地区公民館内)

電話：072-423-9615～6

FAX：072-423-3011

メール：

syogaig@city.kishiwada.osaka.jp



BMX

(写真左から2番目：酒井亜樹さん)

BMX (Bicycle Motocross) は、1970年初めにアメリカで発祥、モトクロスから影響を受けた自転車競技です。レースとフリースタイルに分類されます。レースでは速さを、フリースタイルでは技を競います。

ひとが笑く。

北京オリンピックからレースが、東京オリンピックからフリースタイル・パークが正式種目に追加され、広がりを見せるBMX競技。3年後には、ワールドマスタースゲイムズ2021関西(BMX競技)が、岸和田市で開催されます。同大会は、概ね30歳以上のスポーツ愛好者であれば誰もが参加できる生涯スポーツの国際総合競技大会です。競技会場となるサイクルピア岸和田BMXコースは、岸和田市競輪場に隣接していま

す。NPO法人ドゥールースが、公営競技事業所(岸和田競輪場)から施設管理を委託され、選手育成、イベント企画や自転車競技の普及活動にも取り組んでいます。サイクルピアには、練習に

酒井さんの印象は、にっこり笑う、柔らかい雰囲気の子。動きの激しいBMX競技とは対照的です。当時、小学4年生の酒井さんは、兄・拳蔵さんの自転車競技を応援するために来ていた競輪場の観覧席から、BMXコースを見つけました。「ピアノも水泳も勧めたけど、人前で何かするのは嫌なようでした。そんななかBMXは、自分からしたいと言ってきました。兄のように亜樹のことも何か応援してあげたかったんです。」と酒井さんの母・真樹さんは話します。

意外と気軽に

遠征費用や練習場所が少ないといった問題が妨げになり、まだまだBMXを始める人は少ないです。その点、サイクルピアでは、自転車やプロテクターの貸し出しを行っているので、気軽に始められます。練習は、年間2千円程度の保険に加入するだけで、施設使用料、レンタル料もかかりません。酒井さんも、BMXはレンタルから始めました。ここまで練習環境が整っている場所は、なかなかありません。

現在、高校生の酒井さんは、2時間の練習を週に6回しています。小学生のころから、雨と風の強い日以外は、サイクルピアに通っています。高校受験の期間も、1日1回は、自転車を磨くか、乗るかと、生活の一部になっていました。



ドゥールース
エリートチーム所属
酒井 亜樹さん

BMXレーサー、平成13年生まれ、岸和田市藤井町出身、岸和田市立産業高等学校2年生。昨年行われた第34回全日本BMX選手権大会で準優勝。

＜サイクルピア岸和田BMXコース＞
利用料金：無料(施設利用・レンタル)

※ただし、保険料が必要です。

利用時間：平日 15:00～19:00

土日祝 10:00～19:00

住所：春木若松町22-38

電話：072-457-7770

休館日：毎週火曜日

詳しくは、ホームページから⇒



今年、アゼルバイジャンで行われた世界選手権は、出場権があったにも関わらず、参加を見送りました。学校を長期で休まないといけないことと多額の遠征費用が壁となつたようです。

応援する人が増えれば、酒井さんらBMX選手の活躍の幅が広がるでしょう。「亜樹ちゃんが活躍することで、メディアに取り上げられ、BMXがより多くの人に知られると思います。」とドゥールース・スタッフの中岡さんも言います。

現在、酒井さんは、11月に大阪で開催される国際レースにむけて練習に打ち込んでいます。将来については、まだ考えている最中という酒井さん。BMXを始めるきっかけとなった兄の拳蔵さんは、競輪選手として活動しています。2年後の東京オリンピックでは、酒井さんの活躍が見られるかもしれません。

岸和田から世界へ